平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名　ケイヒン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9312　URL　http://www.keihin.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大津　育敬
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長　(氏名) 荒井　正俊　TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	31,611	2.7	1,071	3.9	886	13.5	587	△0.5
24年3月期第3四半期	30,776	1.6	1,030	43.0	780	76.7	590	670.6

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　567百万円　(134.8%)　24年3月期第3四半期　241百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	8.99	―
24年3月期第3四半期	9.04	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	43,861	13,088	29.8
24年3月期	43,134	12,717	29.5

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　13,088百万円　24年3月期　12,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	3.00	3.00
25年3月期	―	―	―		
25年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	0.4	1,200	1.7	850	2.0	600	△9.2	9.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	65,364,457 株	24年3月期	65,364,457 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	58,890 株	24年3月期	58,315 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	65,306,013 株	24年3月期3Q	65,307,248 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
（３）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
（４）セグメント情報等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成２４年４月１日から平成２４年１２月３１日まで）のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に一時持ち直しの動きが見られましたが、海外景気の減速や日中関係の悪化から輸出や生産が低迷し、一段と厳しい状況で推移しました。

物流業界におきましても、輸入貨物は増加したものの、輸出貨物の荷動きは減少し、内需に支えられてきた国内貨物の荷動きも弱含みとなりました。

このような環境の中、当社グループにおいては、輸出入貨物の取扱いは増加しましたが、国内貨物の取扱いは減少しました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は３１６億１千１百万円（前年同期比８億３千４百万円の増収、２．７％増）、営業利益は１０億７千１百万円（前年同期比４千万円の増益、３．９％増）、経常利益は８億８千６百万円（前年同期比１億５百万円の増益、１３．５％増）となりましたが、四半期純利益は法人税等の増加により、５億８千７百万円（前年同期比３百万円の減益、０．５％減）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第３四半期連結累計期間（百万円）	当第３四半期連結累計期間（百万円）	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	19,763	19,332	△430	△2.2
国際物流事業	11,720	12,983	1,262	10.8
セグメント間内部売上高	△707	△704	2	－
合　計	30,776	31,611	834	2.7

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、新規の取扱いがありましたが、震災に伴う緊急貨物の需要がなくなったこと等から、売上高は４１億１千３百万円（前年同期比３．２％減）となりました。

また、流通加工業は、通信販売商品等の取扱いの減少により、売上高は４１億７百万円（前年同期比１．６％減）となり、陸上運送業は、化学工業品や住宅関連資材等の取扱い減により一般貨物輸送の運送屯数が減少したほか、通信販売商品の配送取扱件数が減少し、売上高は１０６億５千４百万円（前年同期比２．０％減）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は１９３億３千２百万円（前年同期比４億３千万円の減収、２．２％減）、営業利益は１４億１千４百万円（前年同期比１億７百万円の減益、７．１％減）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、複合一貫輸送の貨物取扱いは減少しましたが、輸出車両の海上輸送の取扱いが増加したほか、プロジェクト貨物・海運貨物の取扱いが増加

し、売上高は１０６億２千７百万円（前年同期比１５．５％増）となりました。

また、港湾作業は、船内・沿岸荷役、港湾荷役ともに貨物取扱いが増加し、売上高は１６億７千万円（前年同期比６．４％増）となりました。

一方、航空運送取扱業は、欧州向けの輸出貨物の取扱いが減少し、売上高は６億８千５百万円（前年同期比２８．０％減）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は１２９億８千３百万円（前年同期比１２億６千２百万円の増収、１０．８％増）、営業利益は７億３百万円（前年同期比２億１千８百万円の増益、４４．９％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、減価償却に伴う有形固定資産の減少等がありましたが、受取手形及び営業未収金が増加したこと等により、前連結会計年度末比７億２千７百万円増の４３８億６千１百万円となりました。

負債合計は、借入金（社債を含む）の減少等がありましたが、営業未払金が増加したこと等により、前連結会計年度末比３億５千５百万円増の３０７億７千３百万円となりました。

また、純資産合計は、その他の包括利益累計額が減少しましたが、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比３億７千１百万円増の１３０億８千８百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期累計期間の業績は、概ね期首予想（平成２４年５月１１日発表の予想数値）に沿って進捗しているため、通期の業績予想につきましては、期首予想を据え置いております。

なお、景気動向や事業環境の変動等により、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には適時に開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成２４年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,412	1,560
受取手形及び営業未収金	5,531	6,376
貯蔵品	8	9
繰延税金資産	51	48
その他	939	1,166
貸倒引当金	△78	△83
流動資産合計	7,865	9,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,488	42,952
減価償却累計額	△25,257	△26,162
建物及び構築物（純額）	17,231	16,789
機械装置及び運搬具	2,209	2,215
減価償却累計額	△1,788	△1,858
機械装置及び運搬具（純額）	421	357
工具、器具及び備品	3,205	3,296
減価償却累計額	△2,822	△2,927
工具、器具及び備品（純額）	383	369
土地	10,884	10,884
リース資産	418	578
減価償却累計額	△185	△250
リース資産（純額）	232	327
建設仮勘定	89	79
有形固定資産合計	29,241	28,808
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	421	405
無形固定資産合計	1,398	1,382
投資その他の資産		
投資有価証券	3,804	3,753
繰延税金資産	167	159
その他	588	627
投資その他の資産合計	4,559	4,540
固定資産合計	35,200	34,731
繰延資産		
社債発行費	68	52
繰延資産合計	68	52
資産合計	43,134	43,861

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,677	4,232
短期借入金	6,329	8,153
1年内償還予定の社債	2,000	―
リース債務	76	97
未払法人税等	85	276
繰延税金負債	2	4
その他	1,450	1,376
流動負債合計	13,622	14,141
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	10,125	9,929
リース債務	174	252
長期未払金	100	70
繰延税金負債	11	9
退職給付引当金	2,070	2,055
役員退職慰労引当金	930	930
その他	382	384
固定負債合計	16,795	16,632
負債合計	30,417	30,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	3,316	3,708
自己株式	△11	△11
株主資本合計	13,097	13,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	38
為替換算調整勘定	△456	△438
その他の包括利益累計額合計	△380	△399
純資産合計	12,717	13,088
負債純資産合計	43,134	43,861

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	30,776	31,611
売上原価	28,486	29,214
売上総利益	2,290	2,397
一般管理費	1,260	1,325
営業利益	1,030	1,071
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	108
その他	36	38
営業外収益合計	111	146
営業外費用		
支払利息	316	289
その他	45	41
営業外費用合計	361	331
経常利益	780	886
特別利益		
固定資産売却益	0	3
その他	0	5
特別利益合計	1	8
特別損失		
投資有価証券評価損	49	－
事故負担金	15	－
固定資産処分損	12	－
特別損失合計	76	－
税金等調整前四半期純利益	705	895
法人税、住民税及び事業税	85	283
法人税等調整額	29	24
法人税等合計	114	308
少数株主損益調整前四半期純利益	590	587
少数株主利益	－	－
四半期純利益	590	587

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	590	587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△295	△37
為替換算調整勘定	△53	18
その他の包括利益合計	△348	△19
四半期包括利益	241	567
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	241	567
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成２３年４月１日　至　平成２３年１２月３１日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,174	11,602	30,776	―	30,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	589	117	707	△707	―
計	19,763	11,720	31,484	△707	30,776
セグメント利益	1,522	485	2,008	△977	1,030

(注)１　セグメント利益の調整額△977百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△977百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注)２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成２４年４月１日　至　平成２４年１２月３１日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,725	12,886	31,611	―	31,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	607	96	704	△704	―
計	19,332	12,983	32,316	△704	31,611
セグメント利益	1,414	703	2,118	△1,047	1,071

(注)１　セグメント利益の調整額△1,047百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△1,047百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注)２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。